



# 得点するも、勝利に届かず 今季を象徴する試合に...

有終の美を飾れず、肩を落とす  
イレブン(撮影:佐藤 亮)

## 駒澤大学2-3青山学院大学

### 最終節、黒星で幕を閉じる

「降格は決まっていたんですけど、4年生として最後の試合だったのでなにがなんでも絶対に勝ちたいと思っていた」(大園)。来季から同じく2部で戦う青山学院も同じ気持ちだった。

開始10分、青学大が駒大ゴールネットを揺らし先制点を奪う。続く16分、なんとか1点を取り返したい駒大はコーナーキックのチャンスを迎えるが、合わせることが出来ず。こぼれ球から林堂がパスを出すもこれも合わせきれず得点にはならない。ピッチコンディションが良くない状態のまま奮闘する駒大だが、流れをものにする事ができないまま時間だけが過ぎた。4年生が意地を見せたのは18分、コーナーから山崎が飛び込み頭に合わせ待望の同点弾。「嬉しかった。けどまだ同点だったので、気持ちを切り替えるようにした」(山崎)と、今季なかなか手にすることができなかった1点にチームが沸いた。

試合は後半に突入し、ペナルティエリア内で湯澤が倒されるとPKを獲得。逆転への絶好のチャンスで、キッカーは林堂主将。ブレない落ち着いたシュートを放つと、まっすぐに青学大ゴールに突き刺さった。

逆転に成功した駒大だが、わずか7分後またしても駒大DFの隙を突かれ青学大に同点ゴールを捧げる。その後も同点のまま攻防戦が繰り広げられるが、互いに得点を奪えないままロスタイムの3分を迎える。最終節こそ白星を挙げたい駒大だったが、試合終了間際に左サイドを崩され決勝点を献上。ここで駒大の弱さが出てしまった。「今年の失点はほぼあの時間帯で」と砂川が話すように、今シーズンはロスタイムでの失点が目立ち、詰めが甘い駒大の一年を象徴する試合となった。

極わずかな残りの時間も、必死に追加点を挙げようと果敢に攻める駒大。しかし、試合終了のホイッスルと共に選手は崩れ落ちていった。「もう少し熱くやってほしかった。最終的には色んな面で弱かった」(秋田監督)と名將の顔に悔しさが滲んだ。今季渴望していた得点を取ることができたにも関わらず、「最後粘れなかったというところが今年を象徴している」(秋田監督)と、最後の最後で弱さを見せてしまった今季最終節。だが、まだまだ駒大サッカー部は終わっていない。「1年での復帰を目指す。全国大会も狙う」(秋田監督)と試合後に語るように、すでに次節への準備は始まっている。4年生が期待を込めた後輩に今年の雪辱を晴らしてもらいたい。

(射手真矢)

12月3日 13:50 青山学院大学緑ヶ丘グラウンド

駒大 2 (1-1) 3 青学  
(12位) (1-2) (11位)

得点者(アンス)

[駒]18分 山崎(砂川)  
[駒]51分 林堂

[青]10分 西田(木澤)  
[青]58分 関(金)  
[青]90+3分 山崎(木澤)

KOMAZAWA	AOYAMAGAKUIN
GK①大石健太(2)	GK①田端信成(4)
DF②砂川太志(4)	DF⑫藪 裕史(3)
DF③三宅 徹(4)	DF④樋口 大(4)
(86分⑩江川昇吾(4))	DF⑥阿部 悠紀(4)
DF④林堂 真(4)	DF⑫金 大樹(4)
DF⑥濱田 宙(4)	MF⑤ 白井 悠太(3)
MF⑤山崎紘吉(4)	(86分⑩山崎 文人(3))
MF⑦碓井鉄平(2)	MF⑧木澤 純平(4)
MF⑧奥村 情(3)	MF⑩関 隼平(4)
MF⑪湯澤洋介(3)	MF⑨榎山 翔(1)
FW⑨肝付将臣(4)	FW⑬武富 尚紀(3)
(69分⑯磯部裕基(1))	(90分⑦木下 智之(4))
FW⑩大園祥太(4)	FW⑭西田 直斗(3)
(77分⑫山本大貴(2))	(73分⑪新 裕太郎(4))
S U B	S U B
GK⑯松浦和巳(4)	GK⑫若尾 直道(3)
DF⑮友廣壮希(2)	DF⑮早田 廉(2)
MF⑬板倉直紀(1)	MF⑯高久 朋輝(4)
FW⑭末吉達也(4)	MF⑲横内 宏治(1)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	宮崎純一

[シュート]11:12 [GK]7:14 [CK]9:2 [直接FK]17:17  
[間接FK]2:1 [オフサイド]3:2 [PK]1:0 [主審]細尾 基 [観衆]約250人

警告(C)/退場(S)

[駒]38分 肝付将臣(C) [青]31分 木澤純平(C)  
[駒]62分 山崎紘吉(C) [青]88分 新 裕太郎(C)  
[駒]82分 奥村情(C)